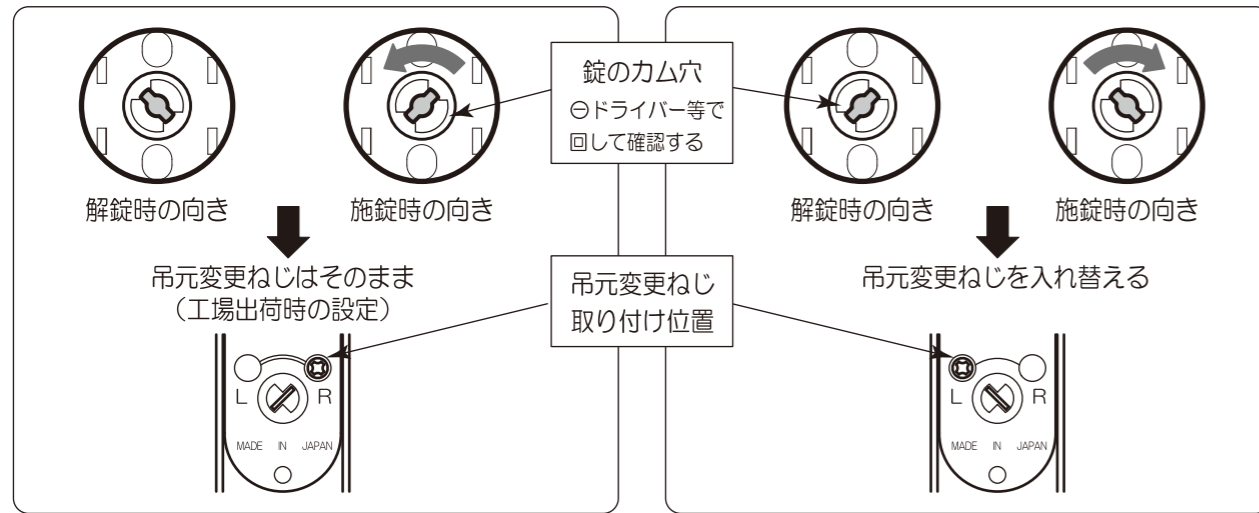


## 錠のカム穴の向きと吊元変更ねじの位置確認

キーレックス 500 SL10 仕様の吊元変更ねじの位置は、扉の開き勝手にかかわらず、錠のカム穴の位置で決まります。扉の切欠き穴から見える、錠のカム穴の位置を確認し、対応する吊元変更ねじの位置を確認してください。

⚠ 吊元変更ねじを逆の状態に取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。



## 記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス 500 は 1 ~ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。 (同じボタンを 2 度押しする設定はできません)  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

## ⚠ 注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
  - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
  - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
  - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
  - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
  - 製品の分解、改造はしないでください。
  - テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
  - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
  - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
  - 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



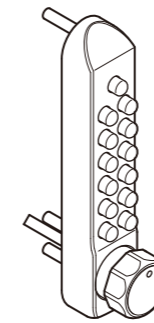
取り付けてある建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

# KEYLEX<sup>®</sup> 500

キーレックス 500  
シブタニ SL10 錠  
シリンダー取替

## 取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22291

防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGASAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

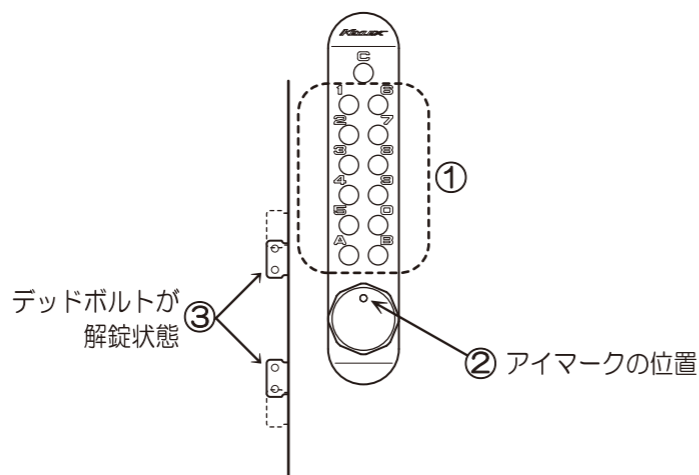
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092

## 基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが  
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが解錠状態になっている

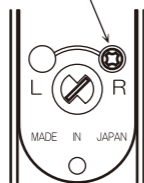


※ 図は扉が左勝手仕様です

室内側

室外側

キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取付位置 R



施錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが上下に飛び出すことを確認します。

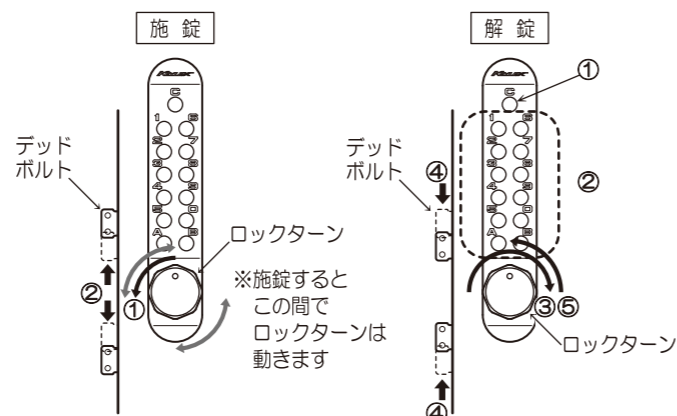
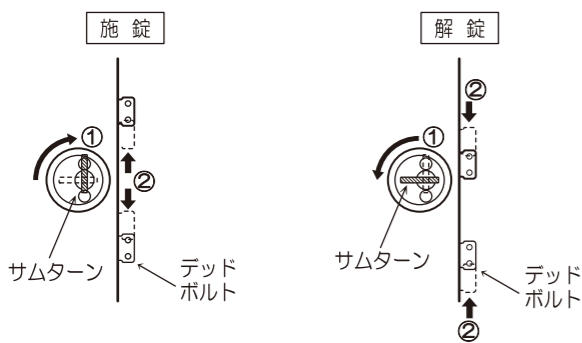
解錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが内側に収まることを確認します。

施錠：①ロックターンを回し、施錠されたことを確認します。

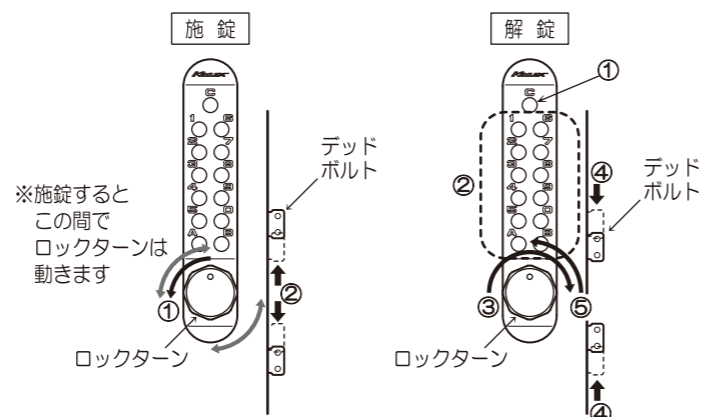
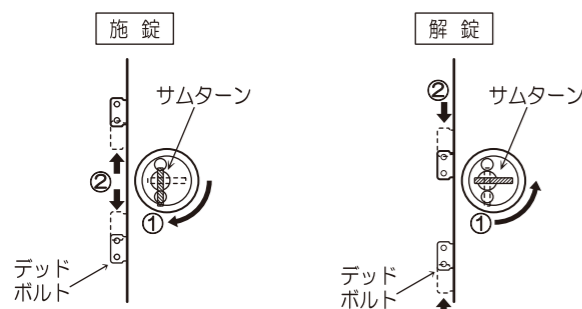
解錠：①Cボタンを押し、②正しい記憶番号を押し、

- ③ロックターンを回しきり、解錠されたことを確認します。
- ⑤ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。

扉が左勝手仕様



扉が右勝手仕様



※本図は、キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取付位置が R 仕様です。吊元変更ねじ取付位置が L 時は対称です。

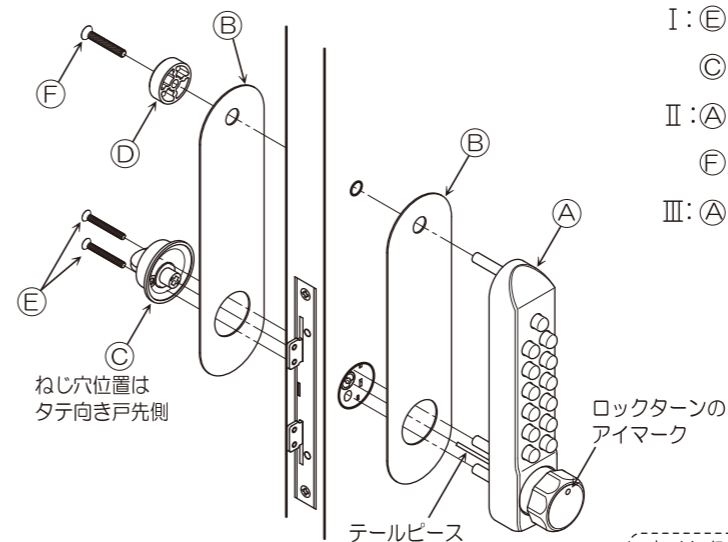
## 記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

7274632

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。

室内側



本図は扉が左勝手仕様

- I: ⑥サムターン座固定ねじ2本をはずし、  
③室内サムターン座をはずします。
- II: ④キーレックス本体と⑥化粧プレートの落下に注意しながら、  
⑦丸座固定ねじをはずし、④室内丸座をはずします。
- III: ④キーレックス本体と⑥化粧プレートをはずします。

【2】記憶番号の設定変更をします。⚠️ ロックターンのアイマークは常に真上の位置を保ってください。

【記憶番号変更の準備】

- ①本体表側のCボタンを押します。

⚠️ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ Cボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

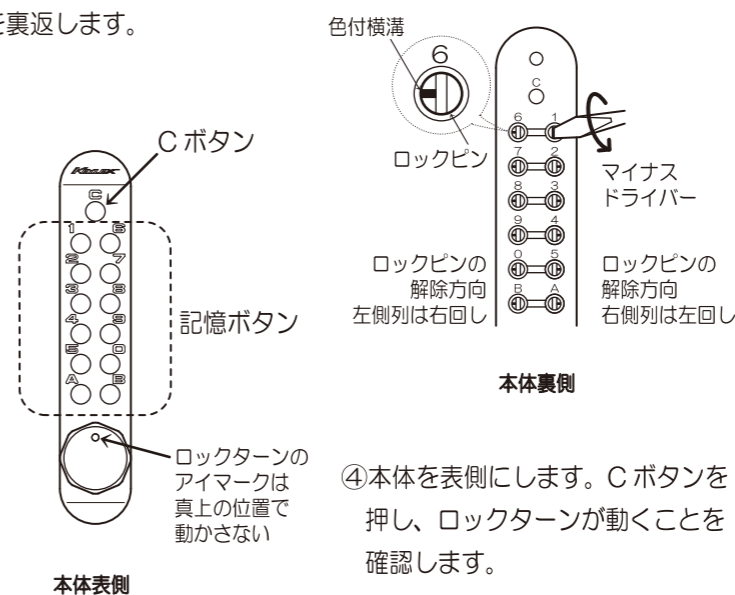
- ②本体を裏返します。

【現在の記憶番号を解除】

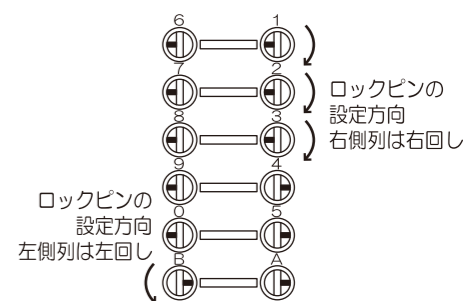
- ③本体裏側の、記憶されている  
ロックピンを回転させて  
記憶されている番号を解除します。  
(ロックピンの色付横溝を外向きに  
回転させる)

【記憶番号の設定】

- ⑤新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。



例：B 1 2 3



- ⑦Cボタン+新しい記憶番号を押し、  
ロックターンが解錠方向に回ることを  
確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。  
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの位置を確認してください。